

令和6年7月

大学院博士前期課程に在籍している学生の皆さんへ

大学院人間文化総合科学研究科長

遊 佐 陽 一

大学院における教育を通じたトランスファラブルスキルの可視化と活用について  
(ご案内)

皆さんが博士前期課程で身に着ける様々な能力・スキルには、実社会で求められる能力・スキルがたくさん含まれています。このうち研究で培われる転用・応用可能な能力をトランスファラブルスキルと言います。近年の大学院教育では、学術的な研究能力は勿論のこと、それらの研究能力が実社会との関わりで、どのように転用・応用可能かも重要視されるようになってきました。このような背景から、将来のキャリア選択の場面で皆さんが自分の修得したトランスファラブルスキルとはどのようなものであるかを明確に提示できるよう、本学大学院では、トランスファラブルスキルを可視化して客観的なデータとして提供可能なシステムを構築しました。

添付の表「学生が身に着けるべきトランスファラブルスキル RISE」は、博士前期課程での学びを通じて皆さんが身に着ける能力が、どのようなトランスファラブルスキルに当たるかを示しています(※1)。そして本学では、博士前期課程での開設科目が、トランスファラブルスキルのどの項目に対応しているかを紐づけ、明示しています(※2)。

「大学院での学び」を「実社会＝就職先でも活かせるスキル」という観点で捉え、添付の「トランスファラブルスキル RISE 関連授業履修確認票」に自分が学んだ科目とトランスファラブルスキルとの対応を記入してください。自分のスキル獲得について説明(※3)ができるようにしてから指導教員に提出することで、コメント・評価を受けることができます。

ご自身の自己点検にとどまらず、普段から研究に関する指導を受けている教員による客観的な視点でのコメントや評価が、自分自身の強みをさらに伸ばしていく契機にもなります。

「トランスファラブルスキル RISE 関連授業履修確認票」は、成績が確認できる科目について随時記入可能ですので、就職活動や進路選択等に臨む際の自己分析や客観的評価を得る手段として適宜、活用してください。(確認票に取得科目数を記載する際の成績一覧は、証明書自動発行機で出力した成績証明書をご活用ください。)

大学院での学びが、実社会で役立つスキルとどのように関連しているか、自覚するためにも是非行ってみてください。

※1 本学が参画している、大学と企業で構成された一般財団法人産学協働イノベーション人材育成協議会（C-ENGINE）が提唱する、研究者として自立するためのスキルセット。

※2 専攻ごとに、それぞれどのようなスキルが身に付くことを期待しているかを示した対比表。

※3 特にスキル向上を実感できた科目や、さらに身につけたいスキルなど、具体的な例をあげられるように振り返ることをお勧めします。

事務担当：

学務課大学院係

電話：0742-20-3208（ダイヤルイン）

E-mail：daigakuin@jimu.nara-wu.ac.jp